

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

担当教員名	授業科目名	単位数	配置学部 または学科	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
片岡 史陽	人間の尊厳と自立	2	介護福祉学科	介護福祉士国家資格を習得し、介護現場で高齢者介護にかかわってきた経験を活かし、人間としての尊厳の保持と自立支援の必要性や、介護場面における倫理的課題に対応できる基礎的能力を教授している。
片岡 史陽	人間関係とコミュニケーション	2	介護福祉学科	一般企業での社会経験や介護福祉現場での対人援助の経験により、人間関係形成のうえで必要な基本的コミュニケーション能力と、介護実践において重要な人間関係形成能力を高めるための講義を実施している。
中澤 里映	社会の理解	4	介護福祉学科	社会福祉士、介護支援専門員の経験を活かし、介護保険制度の目的、しくみ、サービスの内容を理解する。人間の生活と社会のかかわりや、自助から公助に至る過程をわかりやすく講義する。
汲田 幸世	音楽	1	介護福祉学科	音楽大学卒業後、講師として中高等学校の音楽を担当している。ボランティアで声楽指導する傍ら福祉施設を慰問し歌を披露している。その経験を活かして施設利用者の馴染みある童謡や流行歌を教え、余暇活動の充実をはかる技術を教示している。
大石 美智子	日本語表現	4	介護福祉学科	国語1種、2種教諭免許を持ち、高等学校で35年間教鞭とってきた経験を活かし、適切かつ効果的な表現力、伝え合う力を養うと共に思考力や想像力を伸ばすよう教育する。
中澤 里映	介護概論A	4	介護福祉学科	保健師として地域の保健管理・健康推進活動等を経験すると共に、看護師として高齢者入所施設での看護業務にかかわった。その経験を活かし、介護福祉士の職業倫理を軸に、介護対象者等の生活理解をふまえて尊厳の保持、自立に向けた介護実践のあり方を教授している。
中澤 里映	介護概論B	2	介護福祉学科	保健師として地域の保健管理・健康推進活動等を経験すると共に、看護師として高齢者入所施設での看護業務にかかわった。その経験を活かし、介護の専門職としての職業倫理に基づいた介護、根拠に基づいた介護、個別ケアの重要性を教授している。
中澤 里映	介護概論C	2	介護福祉学科	保健師として地域の保健管理・健康推進活動等を経験すると共に、看護師として高齢者入所施設での看護業務にかかわった。その経験を活かし、介護福祉士の職業倫理を軸に、多職種や地域との連携、介護における安全とリスクなどについて理解するよう教授している。
岡部 孝生	リハビリテーション論	2	介護福祉学科	理学療法士の資格を持ち、医療現場で実務を積み、現在、リハビリテーション養成専門学校講師として教授している。リハビリテーションの理念と概要を理解したうえで、リハビリテーションにおける介護福祉士の役割を学ぶ講義を行っている。

土居 清彦	災害救護	1	介護福祉学科	日本赤十字社に所属し県内外、海外での救急法講習活動に従事。災害発生時（地震、集中豪雨等）には、救護・復旧活動に参加。以上の経験を活かし、介護福祉士として各種災害からの「とっさの事態」に対応できる能力、技術を修得するよう指導している。
野村 晃江	コミュニケーション技術A	1	介護福祉学科	介護福祉士の資格を持ち、障害者、高齢者介護に従事してきた経験を活かし、介護におけるコミュニケーションの役割や、利用者・家族との信頼関係の構築、多職種との良好なコミュニケーションのあり方を習得できるよう教授している。
野村 晃江	コミュニケーション技術B	1	介護福祉学科	介護福祉士の資格を持ち、障害者、高齢者介護に従事してきた経験を活かし、利用者の特性、介護場面に応じた援助的コミュニケーションの方法習得にむけて教授している。また、非言語的コミュニケーションの実際を音楽講師と連携して福祉施設で体験により学ぶようにしている。
野村 晃江	生活支援技術A (家政学)	2	介護福祉学科	介護福祉士の資格を持ち、障害者、高齢者の生活を支援してきた経験を活かし、生活の自立を軸に、家事援助に必要な基本的な知識、技術を習得するよう講義している。
中澤 里映	生活支援技術B (住環境)	1	介護福祉学科	保健師として住民の暮らしを調査した経験と住環境コーディネーターの資格を活かし、生活における住の役割、重要性、社会性の基礎的知識を習得できるよう講義している。そのうえで、福祉住環境にかかる諸問題を知り、快適な生活環境整備について学ぶようグループワークを展開している。
石川 麻紀	生活支援技術C (調理)	1	介護福祉学科	管理栄養士として、高齢者施設の食管理の経験を活かし、生活における食の文化、意義等の基礎的知識を習得する。そのうえで障害などの特性別の調理、食事支援の技術が身に着くよう授業を行っている。
門田 由起子	生活支援技術D (被服)	1	介護福祉学科	保育士・幼稚園教諭免許を持ち児童福祉施設で子どもの生活全般を支援してきた経験と、被服専門学校で習得した技術を活かし、生活における衣の文化、意義、社会性等の基礎的知識と衣生活の支援技術の習得をめざした授業を行っている。
片岡 史陽 野村 晃江 和田 理砂 中澤 里映	生活支援技術E (介護技術)	3	介護福祉学科	介護福祉士の資格を持ち、障害者、高齢者の生活を支援した経験を活かし、尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出す介護技術を用いて、安全・安楽に援助するための知識、技術が身に着くよう授業を行っている。
前田 真紀	生活支援技術F I (聴覚・言語)	1	介護福祉学科	聴覚・言語障害の基礎的理解を深め、生活をするうえの障壁や必要な支援方法を享受している。また、手話通訳士の資格を取得して30年、ニュース番組やイベントでの手話通訳をつとめる等、様々な場面で手話を通じて聴覚障害者をサポートしてきた。聴覚障害の理解、聴覚障害者とのコミュニケーションツールとしての手話表現の基礎が習得できるよう指導している。

前田 真紀	生活支援技術F II (聴覚・言語)	1	介護福祉学科	手話通訳士の資格を取得して30年、ニュース番組やイベントでの手話通訳をつとめる等、様々な場面で手話を通じて聴覚障害者をサポートしてきた。聴覚障害者と手話表現によりコミュニケーションをはかる技術の習得をめざし、手話検定試験4級合格をめざし授業を行っている。
野村 晃江	生活支援技術G (知的・肢体・重複)	1	介護福祉学科	介護福祉士の資格を持ち、障害者、高齢者の生活を支援してきた経験を活かし、障害の種類と特性や原因、障害を持つ人の心理と家族関係、介護者の役割、移動支援サービスに関する知識・技術が習得できるよう教授している。 また、民間企業の福祉用具コーディネーターと連携し直接、機器の使用方法等について指導をしている。
金平 景介 野村 晃江	生活支援技術H (視覚)	1	介護福祉学科	高知県身体障害者連合会に所属し、13年視覚障害者の生活指導・訓練にかかわった経験を活かし、視覚障害者の理解と視覚障害者への正しい手引き方法と接し方が習得できるよう指導している。
片岡 史陽	介護過程A	1	介護福祉学科	介護支援専門員の資格を持ち、高齢者の居宅介護サービスに携わってきた経験を活かし、介護過程の意義・目的を理解し、それぞれの過程において必要な知識の習得をめざし講義を行っている。
片岡 史陽	介護過程B	1	介護福祉学科	介護支援専門員の資格を持ち、高齢者の居宅介護サービスに携わってきた経験を活かし、介護過程展開におけるアセスメント技術(情報収集、解釈・分析・統合、課題の抽出)が習得できるよう授業を行っている。
片岡 史陽	介護過程C	1	介護福祉学科	介護支援専門員の資格を持ち、高齢者の居宅介護サービスに携わってきた経験を活かし、介護過程Bを踏まえ、利用者個別のよりよい生活・人生を支援するための介護計画の立案、実践できる能力を養うよう教授している。
片岡 史陽	介護過程D	1	介護福祉学科	介護支援専門員の資格を持ち、高齢者の居宅介護サービスに携わってきた経験を活かし、介護過程とチームアプローチを理解するためのプロセスを通して、介護研究の意義と方法を習得できるよう事例研究を行っている。
片岡 史陽	介護過程E	1	介護福祉学科	介護支援専門員の資格を持ち、高齢者の居宅介護サービスに携わってきた経験を活かし、介護福祉実習の中で受け持った利用者の介護過程の展開を客観的視点で振り返る。事例研究発表を通してプレゼンテーション力が養成されるよう授業を行っている。
和田 理砂 片岡 史陽	介護総合演習A	1	介護福祉学科	介護福祉実習の教育効果を高めるために、施設の種別や目的、入所条件等について理解を深める。介護記録の意義や実習におけるレポートの書き方を、医療福祉資格習得の課程で学んだノウハウを活かし指導している。
和田 理砂 片岡 史陽	介護総合演習B	1	介護福祉学科	利用者個別のこだわりや生活の違いについて学び、在宅生活を支援する事業や介護福祉士の役割について保健師、看護師として在宅、入所施設での実務経験から教授している。

和田 理砂 片岡 史陽	介護総合演習C	1	介護福祉学科	保健師、看護師として在宅、入所施設での実務経験から、介護福祉士に求められる倫理を再確認し、受容される姿勢、表現力、報告・連絡・相談ならびにチームワークの重要性を教授している。
野村 晃江 中澤 里映	介護総合演習D	1	介護福祉学科	総合的に利用者の日常生活援助が実践できるよう、これまでの介護福祉実習を踏まえて明確化した課題から「気づき」「追求」「考察」「表現」できる力を、介護福祉教育の課程での学びと福祉施設での経験により指導している。
	介護福祉実習	10	介護福祉学科	様々な生活場面において、他科目で学習した知識、技術を活かし個別ケアの体験及び多職種協働や関係機関との連携を通じてチームケアと介護福祉士の役割を福祉施設職員より指導を受けている。
和田 理砂	発達と老化の理解Ⅰ	2	介護福祉学科	看護師教育の課程及び医療現場での経験から、発達過程ならびに老化によるこころとからだの変化の特徴と日常生活への影響について教授している。
和田 理砂	発達と老化の理解Ⅱ	2	介護福祉学科	看護師教育の課程及び医療現場での経験から、発達の定義・段階・課題等を踏まえたうえで、老年期に特有の心理的課題や症状・疾病等の支援の留意点について習得できるよう授業を行っている。
公文 聡美	認知症の理解Ⅰ	2	介護福祉学科	高齢者福祉施設で勤務する中でかかわる認知症高齢者の生活上の障害や心理・行動の特徴を踏まえ、認知症の人や家族に対するかかわり方の基本を教授している。
公文 聡美	認知症の理解Ⅱ	2	介護福祉学科	認知症介護に長年携わった経験を基に、家族や社会関係まで含めてアセスメントし、状況に応じた支援方法を導き出す技術が習得できるよう、事例を踏まえて個人・グループワークを行っている。
入川 真理	障害の理解Ⅰ	2	介護福祉学科	看護師、社会福祉士資格を活かし、今日的な障害者福祉の理念のもと、さまざまな障害ゆへの生活上の不具合や心理・行動の特徴を踏まえ、当事者や家族に対するかかわり方の基本を講義している。
入川 真理	障害の理解Ⅱ	2	介護福祉学科	医療福祉病院の統括看護部長であり、慢性期病棟、介護病棟での看護実績と、看護学校での教授経験を活かし、さまざまな障害についての医学的知識の把握を前提に、当事者の障害や環境についてアセスメントし、状況に応じた支援方法を講じている。
和田 理砂	こころとからだのしくみⅠ	4	介護福祉学科	医療現場での看護経験を活かし移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容・口腔清潔に関連する身体の機能と構造を理解したうえで、支援方法の基本を講じている。
和田 理砂	こころとからだのしくみⅡ	2	介護福祉学科	医療現場での看護業務の経験や介護福祉教育の実践経験を活かし、睡眠に関連する身体の機能と構造を理解したうえで、支援方法を学ぶ。看取りのあり方と終末期、臨終時のケアについて教授している。

和田 理砂	医療的ケア	4	介護福祉学科	看護師として急性期医療に携わった経験と救急救命士資格を活かし法制度や倫理等をふまえた医療的ケアの基礎的知識について把握したうえで、急変時や事故発生時の対応などもふまえた喀痰吸引と経管栄養の実施手順、手技が習得できるよう指導している。
野村 晃江 片岡 史陽	地域福祉論	1	介護福祉学科	社会福祉法人の職員としての地域貢献や介護福祉教育に携わった経験から、地域社会における福祉の課題の把握、課題解決に取り組む交流活動などに参加し、専門職として地域での生活を支える役割が学べるよう福祉施設へのボランティア活動参加、地域イベント活動への協力を斡旋している。 また、点字図書を作成し点字図書館に寄贈している。